

未来を描く資産づくりセミナー
～ 一歩進んだ資産運用を学ぼう！ ～

第4回

一歩進んだ資産運用とリスク対策

～投資信託・株式から出口戦略まで～

FP相談 エニーライフラボ



本日の内容

1. 投資信託の用語と評価指標
2. 目論見書の見方
3. 株式投資の実際
4. リスクマネジメント
5. 出口戦略
6. まとめ

用語・評価指標

YAHOOファイナンス 三菱UFJインデックス225オープンの例
<https://finance.yahoo.co.jp/quote/0331298B>



基準価額

1万口あたりの価格
≒ 株価の様なもの

収益率(リターン)

基準価額の騰落率



三菱UFJ インデックス225オープンの基準価額・投資信託情報

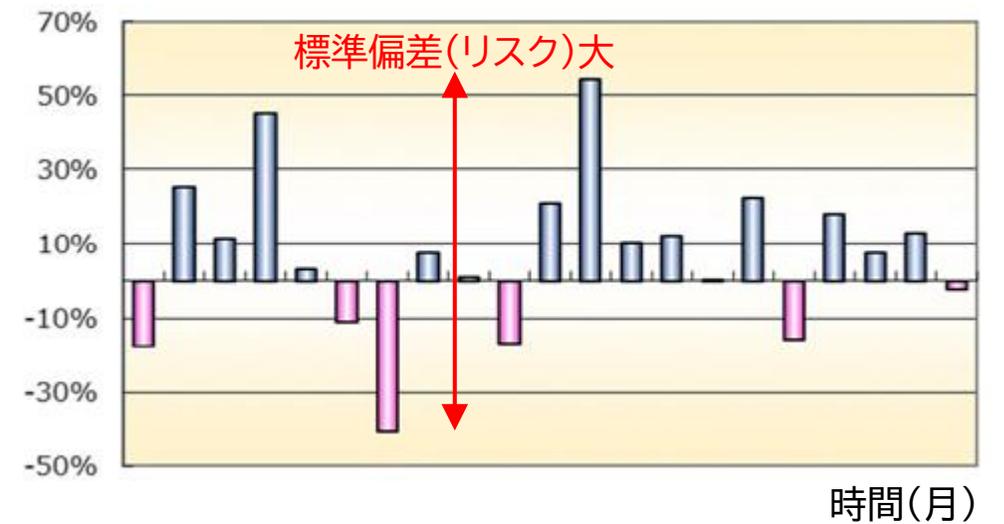
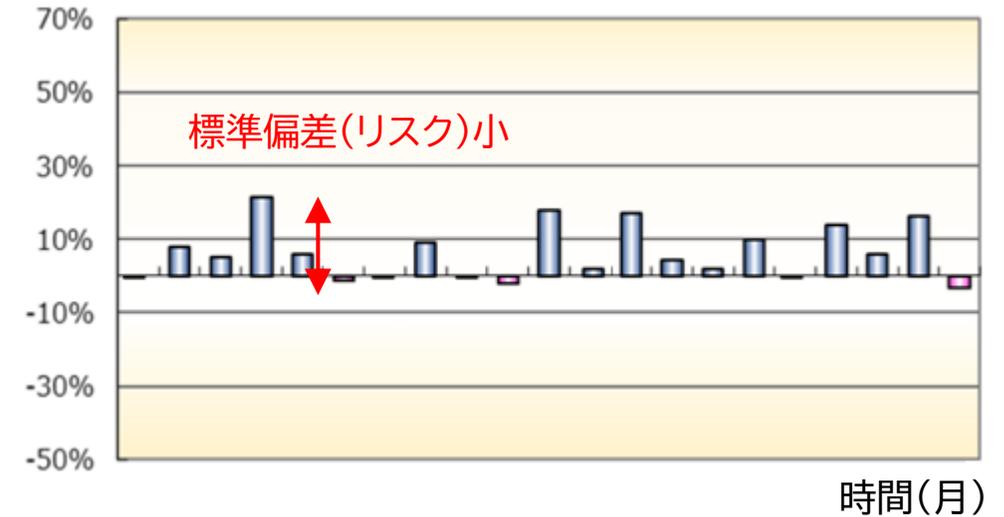
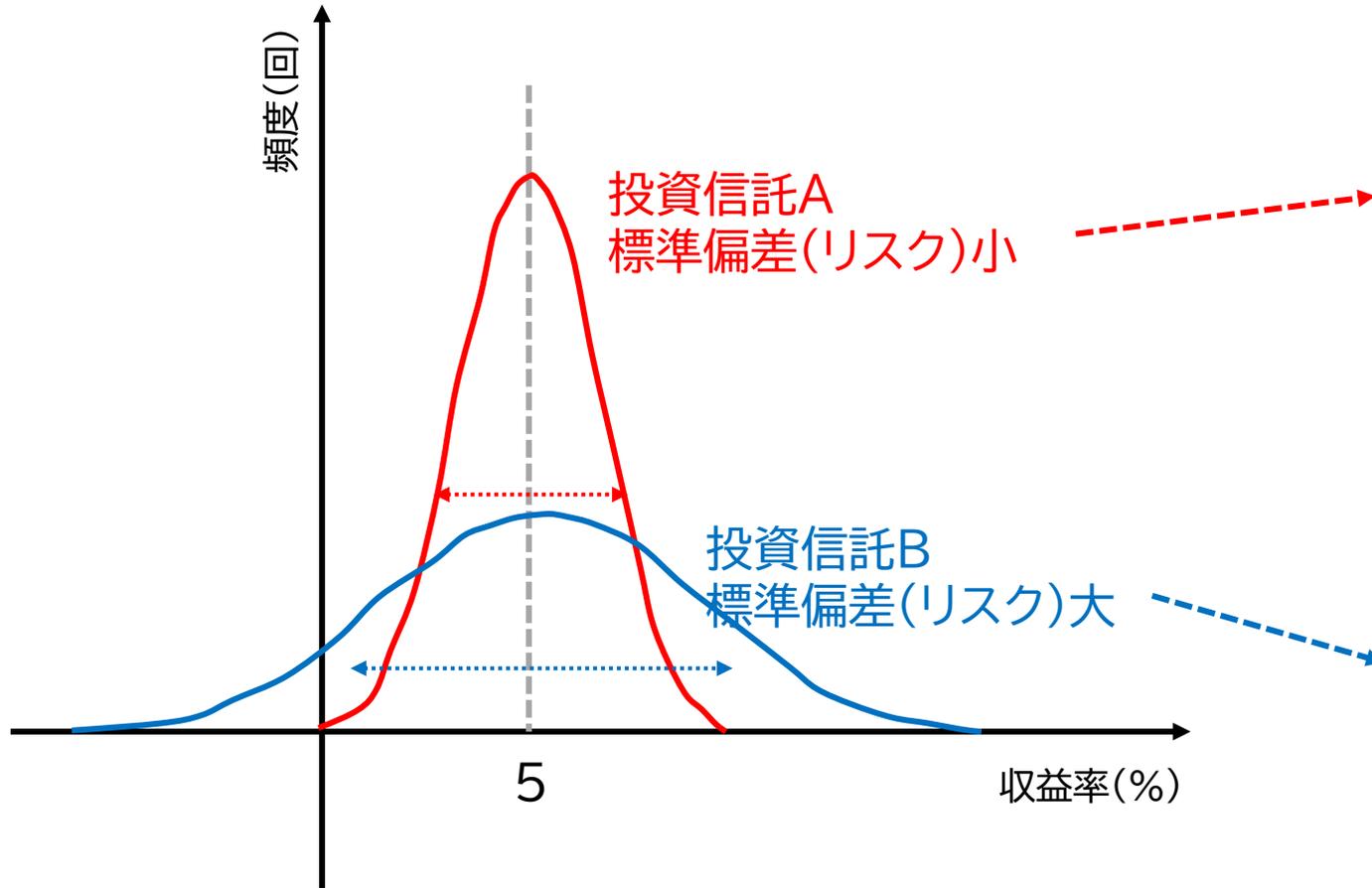
純資産残高 (用語)	145,241 百万円	信託報酬 (用語)	0.55%
資金流出入 (1カ月) (用語)	-4,065 百万円	ファンドレーティング (用語)	★★★★☆
トータルリターン (1年) (用語)	+10.31%	リスク (標準偏差・1年) (用語)	12.36
決算頻度 (年) (用語)	1回	リスクメジャー (用語)	■■■■■ 4 やや高い
直近分配金 (用語)	300 円		

標準偏差(リスク)

リターンのブレ幅



Q：同じ収益率であればどれを選ぶか？



A：標準偏差が小さい投資信託A社を選ぶべき → 何故でしょう？

標準偏差(リスク)の影響

元金100万円の事例で計算してみましょう



リスク小

	1年目	2年目	3年目	4年目	平均
リスク	+6%	+8%	-2%	+8%	+5%
評価額	106	114.5	112.2	121.1	
	×1.06	×1.08	×0.98	×1.08	

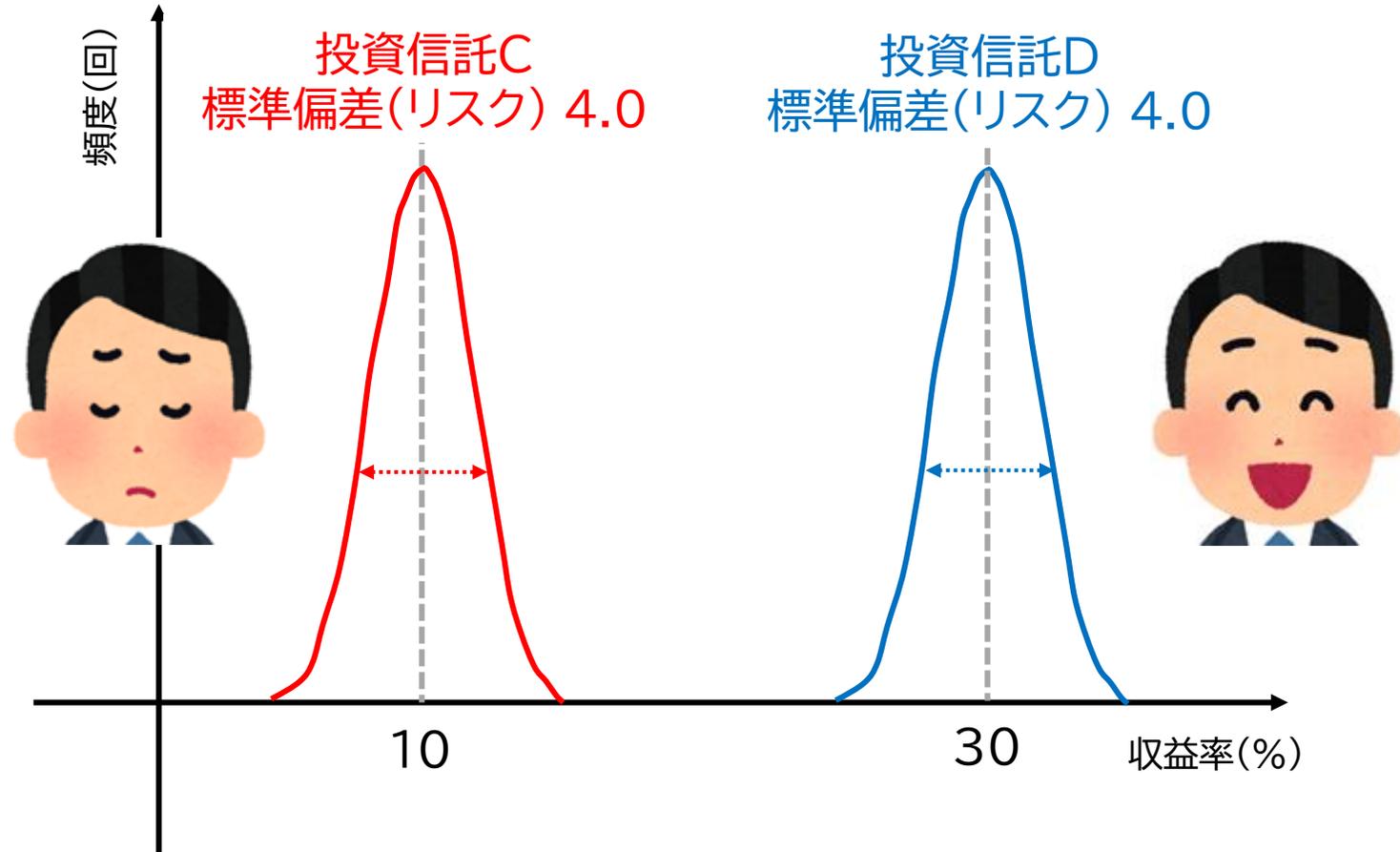


リスク大

	1年目	2年目	3年目	4年目	平均
リスク	+50%	+10%	-50%	+10%	+5%
評価額					
	×1.5	×1.1	×0.5	×1.1	

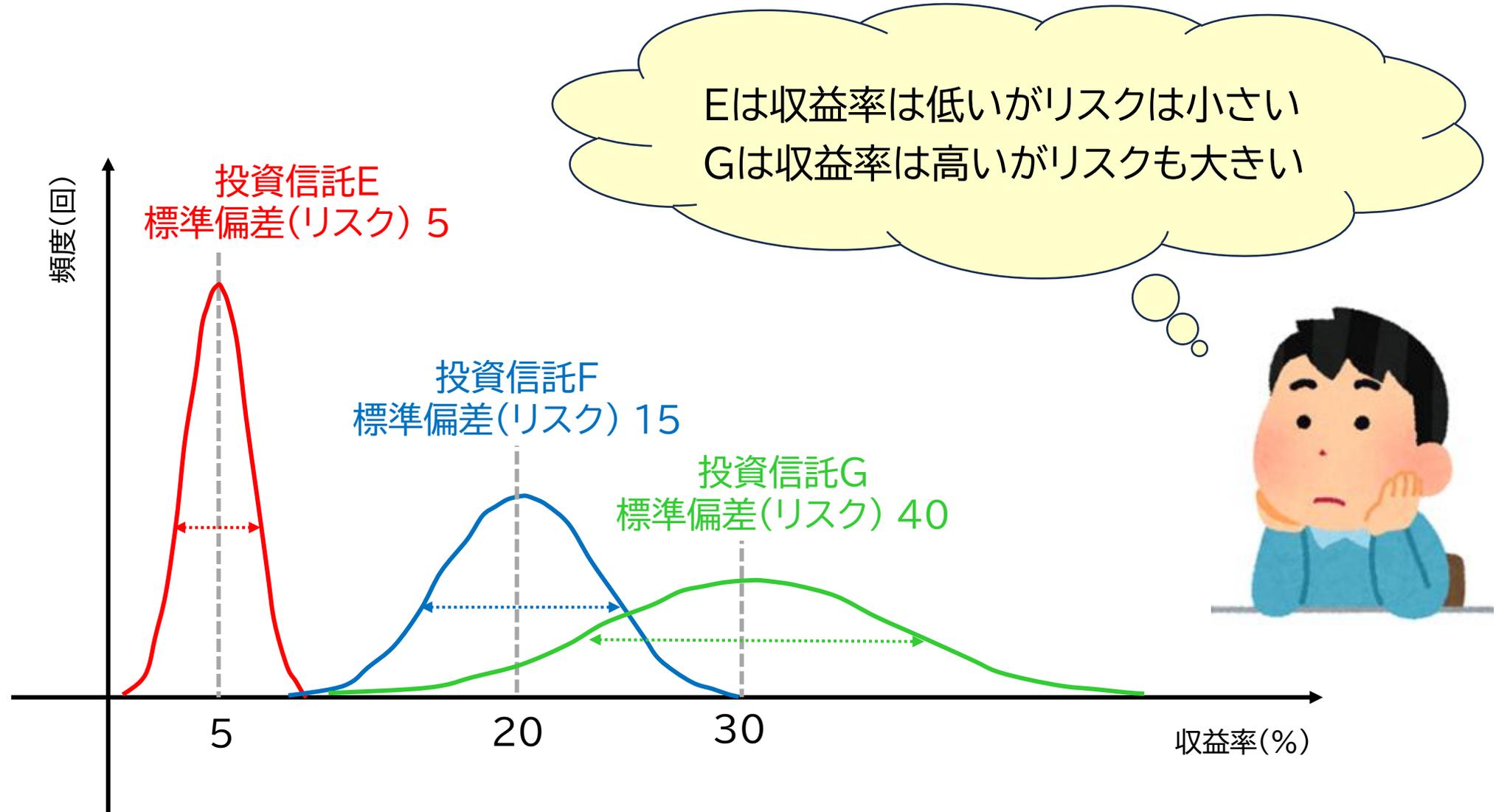


Q：同じ標準偏差(リスク)ならどれを選ぶ？



A：同じ標準偏差であれば収益率の高い投資信託Dを選ぶべき

Q : 収益率、標準偏差(リスク)が異なる場合は？



シャープレシオ(効率係数)を目安にする

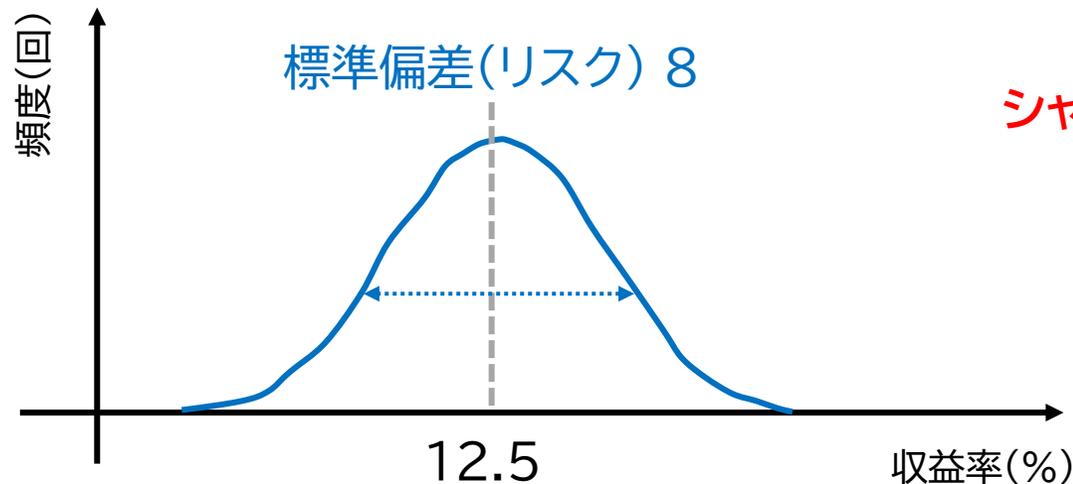
単にリターンを比較するのではなく、
その裏にあるリスクとの度合いで運用成果を判断しようとするもの。

$$\text{シャープレシオ} = (\text{収益率} - 0.1) \div \text{標準偏差}$$

→ 値が大きいほどリスクの割にリターンが大きい = 運用成績が優れている

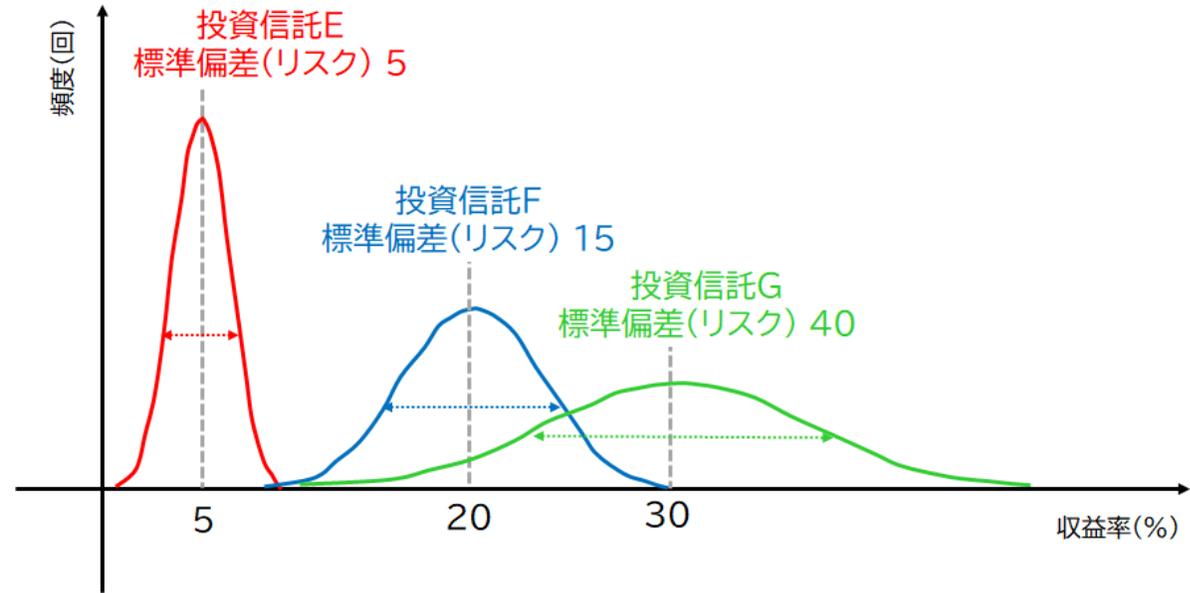
注) 0.1 : 安全資産利率 = 無担保コールレート

計算例)



$$\begin{aligned} \text{シャープレシオ} &= (\text{収益率} - 0.1) \div \text{標準偏差} \\ &= (12.5 - 0.1) \div 8 \\ &= 12.4 \div 8 \\ &= 1.55 \end{aligned}$$

計算結果



シャープレシオ = (収益率 - 0.1) ÷ 標準偏差

	収益率	標準偏差	シャープレシオ
投資信託E	5	5	$(5 - 0.1) \div 5 = 0.98$
投資信託F	20	15	$(20 - 0.1) \div 15 = 1.33$
投資信託G	30	40	$(30 - 0.1) \div 40 = 0.75$

A : シャープレシオの高い投資信託Fを選ぶべき

1. 投資信託の用語と評価指標
2. 目論見書の見方
3. 株式投資の実際
4. リスクマネジメント
5. 出口戦略
6. まとめ

目論見書の見方

目論見書とは

投資判断に必要な重要事項を説明した書類

購入する前に必ず投資家に渡される書類

購入の前に必ず確認が求められる

- 交付目論見書

購入時の交付が義務付けられている

- 請求目論見書

投資家から請求があった場合に渡す

詳細版

投資信託説明書
(交付目論見書)

使用開始日 2025.8.5



※販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。



三菱UFJ インデックス225オープン

追加型投信 / 国内 / 株式 / インデックス型

※ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、わが国の株式の指標である日経平均株価(日経225)(配当込み)に連動する投資成果をめざします。



日経225に連動

ファンドの特色

■日経平均株価(日経225)(配当込み)に連動する投資成果をめざして運用を行います。

- 配当込みの日経平均株価(日経225)の値動きを示す「日経平均トータルリターン・インデックス」をベンチマークとします。
- 日経225マザーファンドを主要投資対象とし、日経平均株価(日経225)(配当込み)に連動する投資成果をめざします。なお、わが国の株式に直接投資することもできます。
- 株式(株価指数先物取引等を含む)の実質組入比率は、高位を保ちます。(追加設定の影響等により、実質株式組入比率が一時的に100%を上回る場合があります。)
- 運用の効率化を図るためおよび当該株価指数への連動をめざすため、株価指数先物取引等を利用します。
- 株式への直接投資にあたっては、原則として日経平均株価(日経225)(配当込み)採用銘柄のうち180銘柄以上に投資を行います。



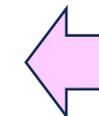
日経225インデックスをベンチマーク



180銘柄以上に投資

■分配方針

- 年1回の決算時(11月5日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して配当収入を中心に決定します。
- 分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。



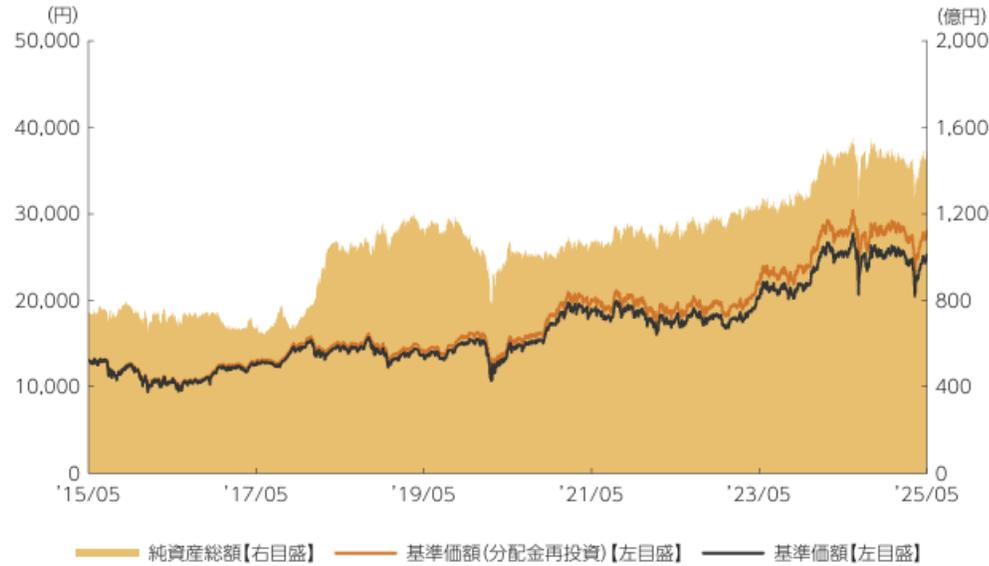
分配金(年1回)普通分配のみ



運用実績

2025年5月30日現在

■ 基準価額・純資産の推移 2015年5月29日～2025年5月30日



- 基準価額(分配金再投資)はグラフの起点における基準価額に合わせて指数化
- 基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■ 基準価額・純資産

基準価額	24,953円
純資産総額	1,459億円

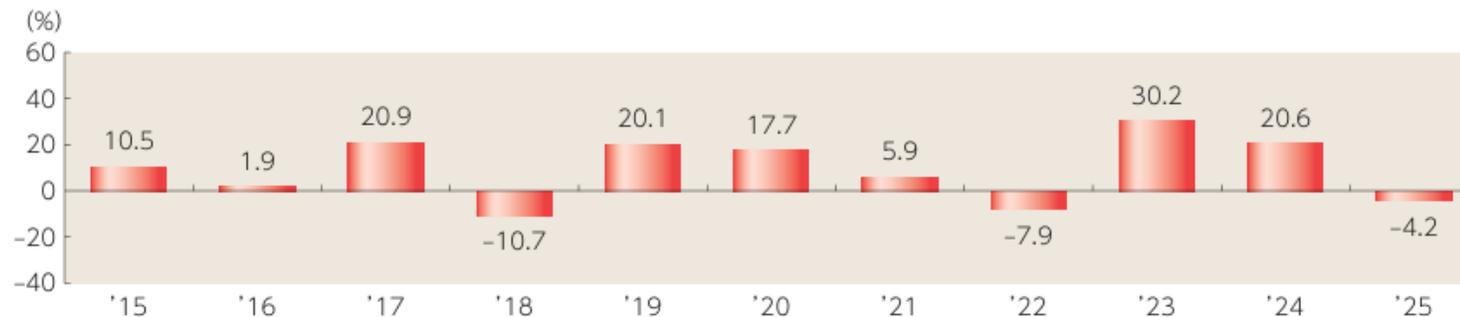
• 純資産総額は表示桁未満切捨て

■ 分配の推移

2024年11月	300円
2023年11月	250円
2022年11月	250円
2021年11月	150円
2020年11月	150円
2019年11月	150円
設定来累計	4,100円

• 分配金は1万口当たり、税引前

■ 年間収益率の推移



← 分配金
11月(年1回)

残念ながら
標準偏差(リスク)
の記載が無いので注意

← 収益率(リターン)



手続・手数料等

■お申込みメモ

<p>購入時</p>	購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
	購入価額	<u>購入申込受付日の基準価額</u> ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
	購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
<p>換金時</p>	換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。) 販売会社にご確認ください。
	換金価額	<u>換金申込受付日の基準価額</u>
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
<p>申込について</p>	申込締切時間	原則として、 <u>午後3時30分までに販売会社が受けたものを当日の申込分</u> とします。 なお、販売会社によっては異なる場合があります。
	購入の申込期間	2025年2月5日から2026年2月4日まで ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新される予定です。
	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込受付 の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。



購入時の価額



解約時の価額



受付締切は午後3:30



手続・手数料等

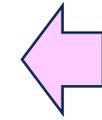
■ファンドの費用・税金



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	支払先	購入時手数料	対価として提供する役務の内容
	販売会社	購入価額に対して、 上限0.55% (税抜 0.5%) (販売会社が定めます)	ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続等
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)			
信託財産留保額	ありません。		



購入時手数料



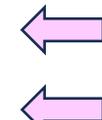
解約時の手数料



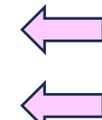
信託報酬
(保有期間中の手数料)

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

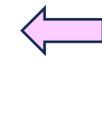
運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率0.55% (税抜 年率0.5%) をかけた額		
	1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (保有日数 / 365)		
	※上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。		
	各支払先への配分(税抜)は、次の通りです。		
	支払先	配分(税抜)	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.225%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等	
販売会社	0.225%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等	
受託会社	0.05%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等	
※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。			



運用の指図を行う投資信託委託会社



顧客の窓口となる証券会社、銀行



売買、資金管理を行う信託銀行

1. 投資信託の用語と評価指標
2. 目論見書の見方
3. 株式投資の実際
4. リスクマネジメント
5. 出口戦略
6. まとめ

株式投資とは

株式とは

企業が事業活動に必要な資金を調達するために発行されたもの

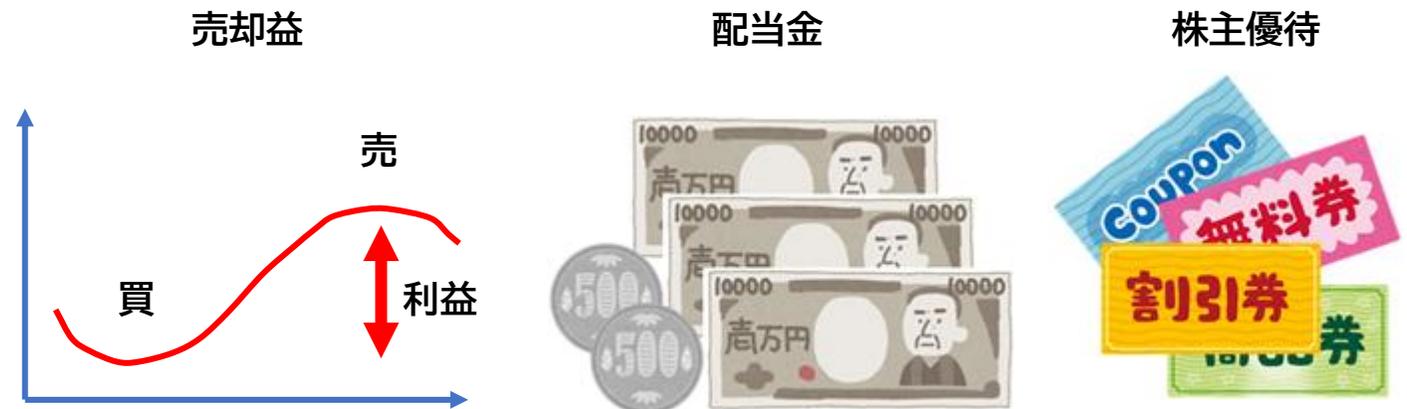
株式投資とは

この株式を売買する行為



株式取引の魅力

投資で得られるリターン
売却益(値上り益)の他、
配当金や株主優待等がある



証券取引所と株式市場 (2025年時点)

市場	上場部	企業数
東京証券取引所 (東証)	プライム	1,640社
	スタンダード	1,592社
	グロース	610社
	Tokyo Pro Market	133社
名古屋証券取引所 (名証)	プレミア市場	170社
	メイン市場	111社
	ネクスト市場	21社
札幌証券取引所 (札証)	本則市場	52社
	アンビシャス(新興)	10社
福岡証券取引所 (福証)	本則市場	86社
	Q-Board(新興)	21社

2022年に再編
(旧)一部、二部、マザーズJASDAQ

東京証券取引所に上場する企業が圧倒的に多い

株価に影響する要因

1. 企業の業績

業績が好調であれば、配当金などによる還元が期待できるだけでなくその企業自体の価値が高まる
→企業の株を欲しいと考える人が増えて株価が上昇する



2. 経済的な要因

「景気」「為替」「金利」「財政」「技術革新」など
景気が良くなると商品がたくさん売れて業績が良くなる



関税+25!



3. 政治的な要因

政局が不安定になると不安から株を売りたいと考える投資家が増える

4. その他

税制や株取引のルール変更、天候の変化や自然災害など



株式取引のルール

1. 取引時間

原則平日 午前:9時~11時30分、午後:12時30分~15時30分

2. 銘柄コード

上場株式には「銘柄コード」という4ケタの番号が決められている
例)トヨタ自動車(株)の場合は7203、任天堂(株)は7974

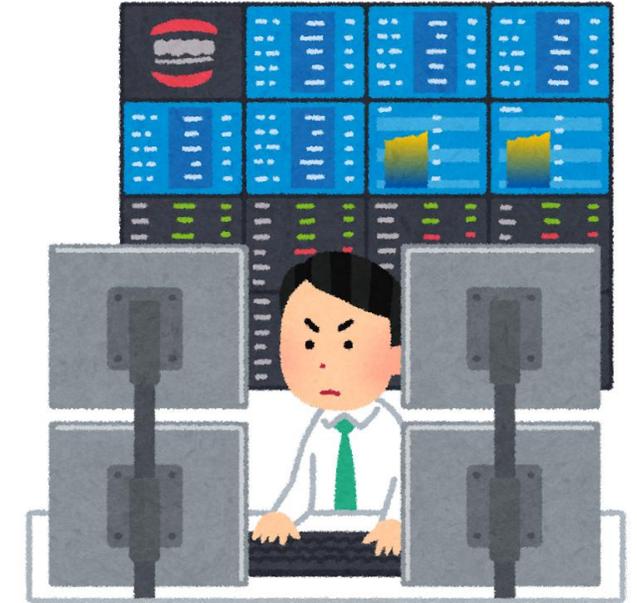
3. 注文の種類

・成行(なりゆき)注文

「いくらでもいいから買いたい(売りたい)」と値段を指定しない注文方法

・指値(さしね)注文

「〇〇円より安ければ買いたい」「〇〇円より高ければ売りたい」と値段を指定する方法



4. 取引の原則

・価格優先の原則

買いの注文は「**高い値段**が低い値段より優先」される

売りの注文は「**低い値段**が高い値段より優先」される

・時間優先の原則

先に出された注文が、後に出された注文より優先される



5. 売買代金の受け渡し

売買が成立した際には受渡の準備が行われ、売買が成立した日(約定日:やくじょうび)から数えて**3営業日目**に代金と株の受け払いが行われる。



株式購入の実際

取引の単位

基本は**1単元(=100株)単位**での取引となる。



例1)

トヨタ自動車の株価 2,805円* を購入する場合

→ 1単元(=100株) 分、**28万0,500円**を準備する必要がある。

例2)

キーエンスの株価 6万3,520円* を購入する場合

→ 1単元(=100株) 分、**635万2,000円**を準備する必要がある。

* 株価は2025/2/14現在

概ね数十万円～百万円単位の資金が必要

→ 複数の株に分散投資するには数百万円程度が必要になる

ただし・・・少ない元手で購入できる株式もあります

例1) [ソフトバンク](#)の株価は 209円 →1単元の購入額はたったの2万900円

例2) [セブン銀行](#)の株価は 306円 →1単元の購入額は3万6、000円

10万円以下で購入できる株式は約1,500社 (2025/2/14現在)

株価は2025/2/14現在

株式会社名	市場	株価	1単元購入額
日本電信電話	東証プライム	147円	14,700円
住友化学	東証プライム	338円	33,800円
ヤマダホールディングス	東証プライム	445円	44,500円
コニカミノルタ	東証プライム	558円	55,800円

その他 : ミニ株・単元未満株を扱っている証券会社もあり

実際の取引画面(松井証券)

登録 CSV出力 更新



投資指標

YAHOOファイナンス (株)セブン&アイ・ホールディングスの例
<https://finance.yahoo.co.jp/quote/3382.T>

株価指標とは、企業の株価を比較、評価する際に用いるさまざまな尺度

3382 小売業 リアルタイム株価 15:00
(株)セブン&アイ・ホールディングス **5,500**
前日比 **-219** (-3.83%)
+ ポートフォリオに追加
詳細情報 | チャート | 時系列 | ニュース | 企業情報 | 掲示板 | 株主優待 | 業績予想 | みんかぶ

(株)セブン&アイ・ホールディングスの株価・株式情報

前日終値 <small>用語</small>	5,719 (11/28)
始値 <small>用語</small>	5,650 (09:00)
高値 <small>用語</small>	5,656 (09:02)
安値 <small>用語</small>	5,498 (14:55)
出来高 <small>用語</small>	3,635,900 株 (15:00)
売買代金 <small>用語</small>	20,191,058 千円 (15:00)
値幅制限 <small>用語</small>	4,719~6,719 (11/29)



⊙ リアルタイムで表示

参考指標

時価総額 <small>用語</small>	4,875,431百万円 (15:00)
発行済株式数 <small>用語</small>	886,441,983株 (11/29)
配当利回り (会社予想) <small>用語</small>	2.05% (15:00)
1株配当 (会社予想) <small>用語</small>	113.00 円 (2024/02)
PER (会社予想) <small>用語</small>	(連)21.12倍 (15:00)
PBR (実績) <small>用語</small>	(連)1.31倍 (15:00)
EPS (会社予想) <small>用語</small>	(連)260.40 (2024/02)
BPS (実績) <small>用語</small>	(連)4,209.54 (2023/02)
最低購入代金 <small>用語</small>	550,000 (15:00)
単元株数 <small>用語</small>	100株
年初来高値 <small>用語</small>	6,619 (23/03/09)
年初来安値 <small>用語</small>	5,162 (23/10/24)

・配当利回り

投資(購入)金額に対する配当金の割合を示す指標 →高いほど良い(配当金を沢山もらえる)

$$\text{配当利回り}(\%) = \frac{\text{1株当たりの配当金}}{\text{株価}} \times 100$$

配当利回りは(株主にとって)高いほど良いが・・・

名称	取引値	1株配当	配当利回り
三ツ星ベルト	4,415	250.00	+5.66%
セイコーエプソン	2,155	74.00	+3.43%
任天堂	6,826	181.00	+2.65%
セブン&アイ・ホールディングス	5,500	113.00	+2.05
オリエンタルランド	4,988	11.00	+0.22

良い
↑
↓
悪い

・配当性向

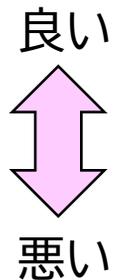
当期純利益のうち、どれだけを支払ったかを示す指標

$$\text{配当性向(\%)} = \text{1株当たり配当額} \div \text{1株当たり当期純利益(EPS)} \times 100$$

配当性向りは(株主にとって)高いほど良いが ... **30~50%程度が目安**
高すぎる企業は要注意

名称	1株配当	EPS	配当利回り
三ツ星ベルト	250.00	250.34	99.8% 注意
任天堂	181.00	360.75	50.2%
セブン&アイ・ホールディングス	113.00	260.40	43.4%
セイコーエプソン	74.00	196.05	37.7%
オリエンタルランド	11.00	539.95	2.0% 注意

目安



・株価収益率(PER)

株価が1株当たり税引後利益の何倍まで買われているかを示す指標

$$\text{PER(倍)} = \text{株価} / \text{1株当たりの当期純利益}$$

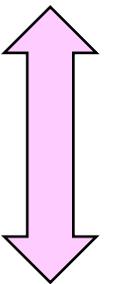
低い = 割安 = 利益額に比べて株価が安い → もっと高値になる可能性がある

高い = 割高 = 利益額に比べて株価が高い → 実力以上の株価が付けられている

目安

名称	取引値	1株利益	PER
中国電力	976	302.57	3.22
セイコーエプソン	2,155	196.05	10.99
任天堂	6,826	360.75	18.92
セブン&アイ・ホールディングス	5,500	260.40	21.12
ファーストリテイリング	37,390	1,010.86	36.99

割安



割高

・株価純資産倍率(PBR)

株価が1株当たり純資産の何倍まで買われているかを示す指標で、企業の資産価値を示す

$$\text{PBR(倍)} = \text{株価} / \text{1株当たりの純資産}$$

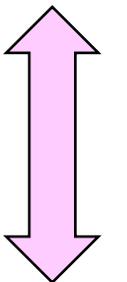
低い = 割安 = 資産価値に比べて株価が安い → もっと高値になる可能性がある

高い = 割高 = 資産価値に比べて株価が高い → 実力以上の株価が付けられている

目安

名称	取引値	1株純資産	PBR
高知銀行	945	5,455.89	0.17
セイコーエプソン	2,155	2,372.30	0.91
セブン&アイ・ホールディングス	5,500	4,209.54	1.31
任天堂	6,826	2,119.43	3.22
ファーストリテイリング	37,390	5,939.33	6.30

割安



割高

1. 投資信託の用語と評価指標
2. 目論見書の見方
3. 株式投資の実際
4. リスクマネジメント
5. 出口戦略
6. まとめ

投資における5つのリスク

(1) 株価変動リスク

株式の価格が上下する可能性のこと。株価は、景気や企業の業績、国内外の政治情勢などの要因で変動。

(2) 信用リスク

株式や債券を発行している企業や国が債務不履行に陥る可能性のこと。

(3) 流動性リスク

流動性とは、換金の容易さや市場に出回る数の多さのこと。流動性が最も高いのは現金。
例えば、不動産投資は高額商品のため買い手がすぐには見つからず流動性リスクが高い。

(4) 金利変動リスク

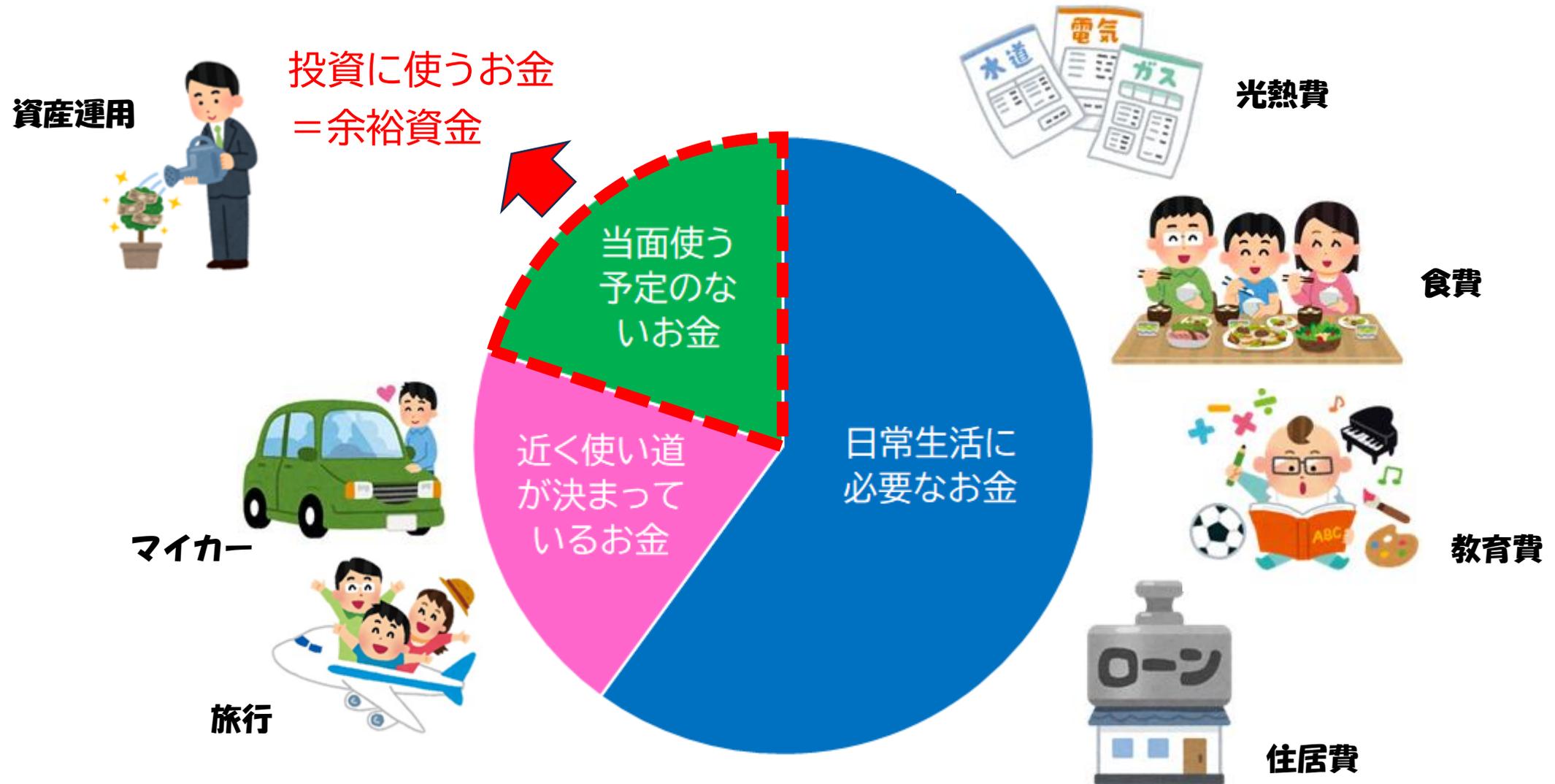
債券の市場価格は金利が上がれば下落し、逆に金利が下がると上る。

(5) 為替変動リスク

為替の変動が資産運用に影響する。

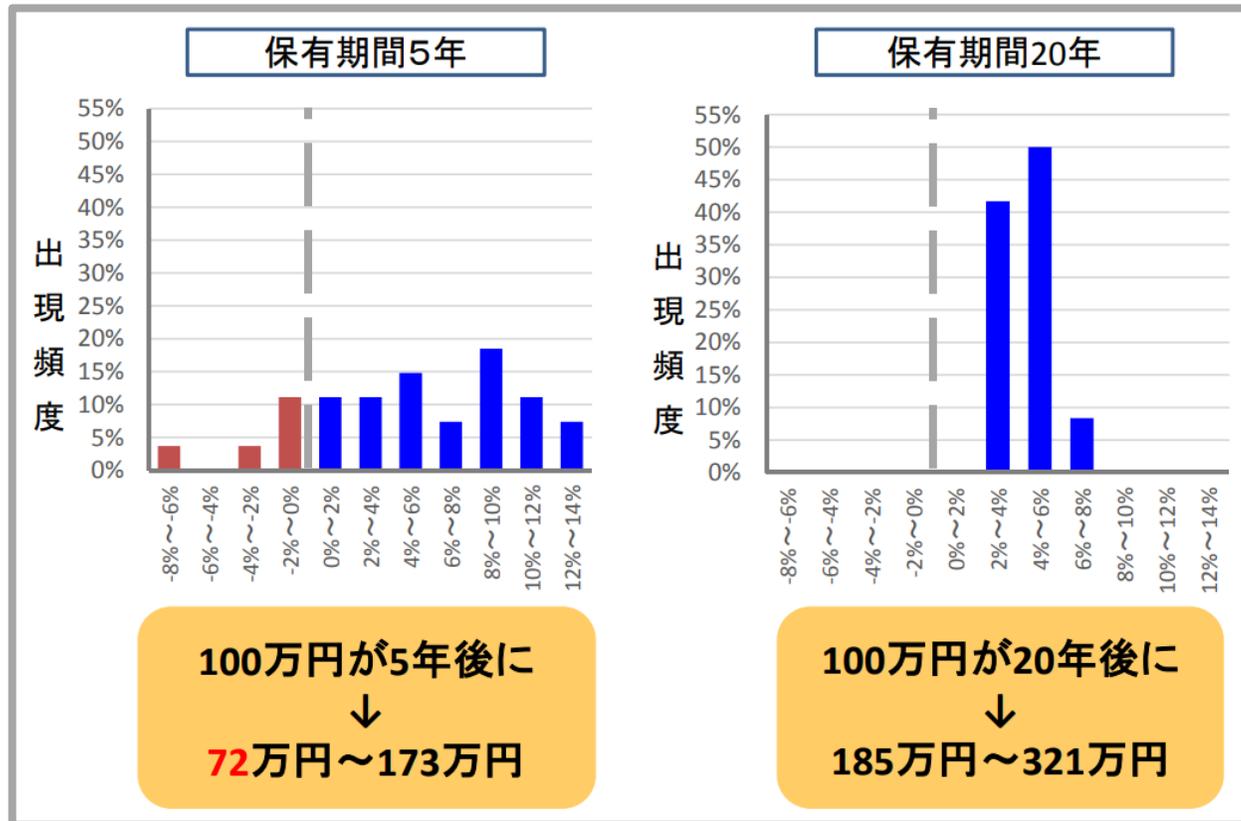
為替相場がドル安に動くと、日本円ベースで見るとその金融商品の価値は下がったことになる。

リスク対策1 : 資産運用は余裕資金で行う (鉄則!)

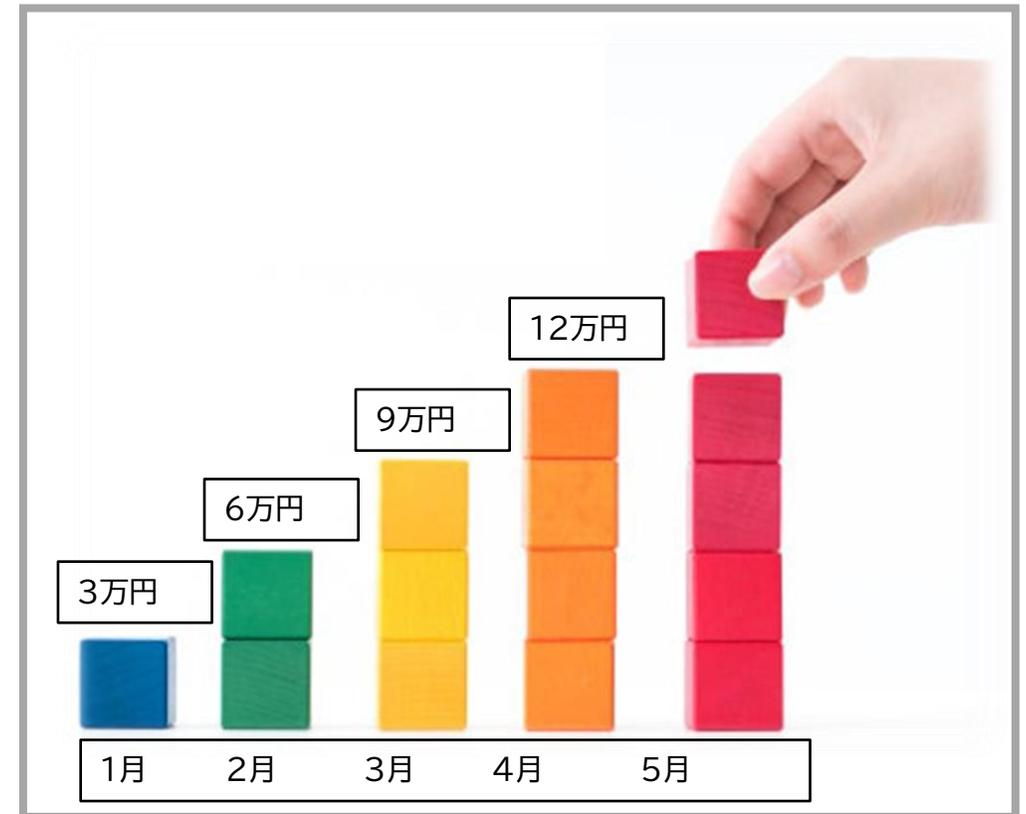


リスク対策2 : 長期・積立・分散投資を心がける

長期投資

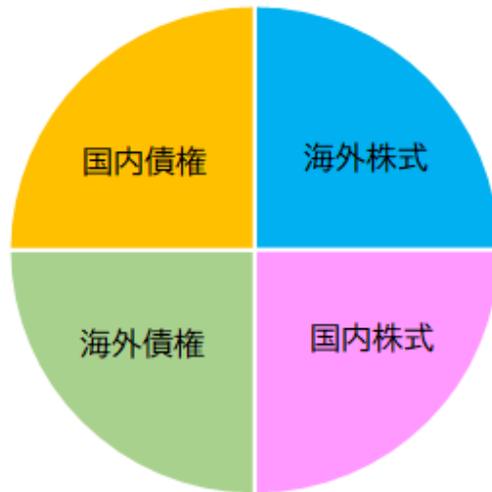


積立投資



分散投資

資産の分散



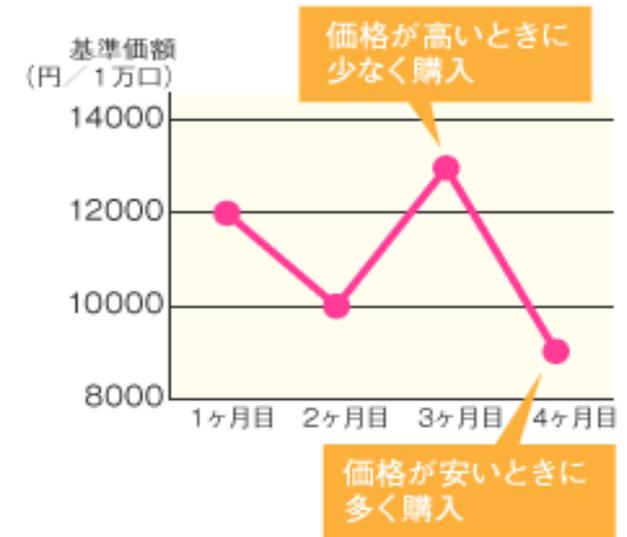
特徴の異なる複数の
資産を組み合わせる

地域の分散



複数の地域や通貨を
組み合わせる

時間の分散

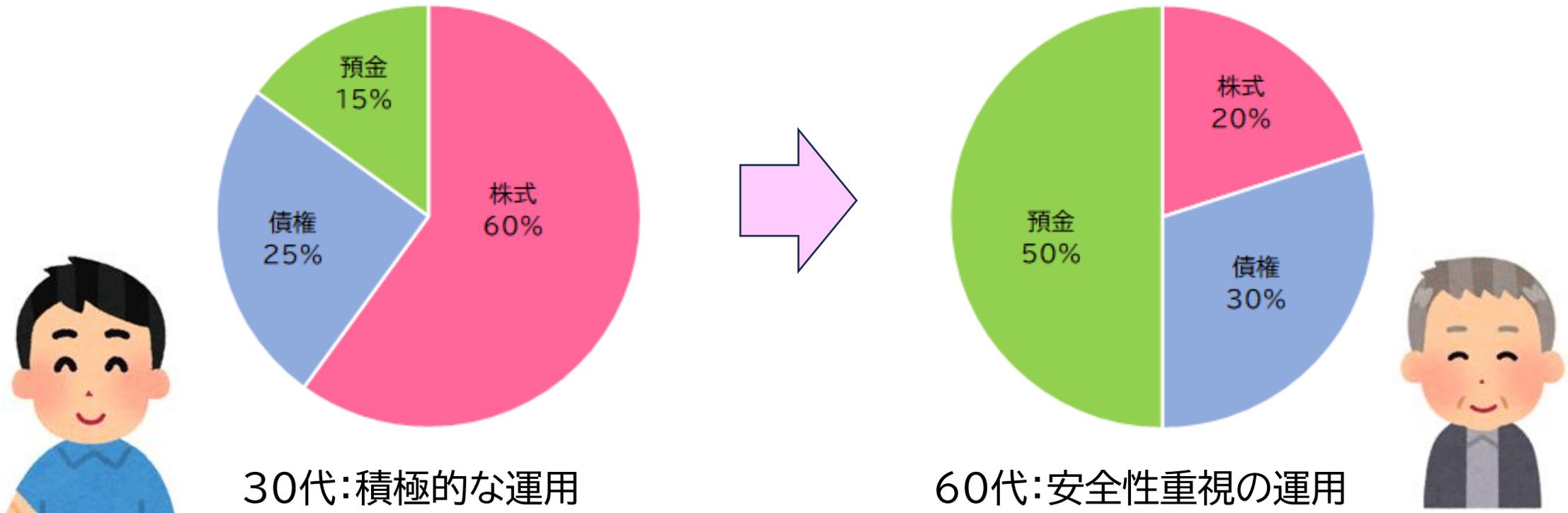


投資のタイミングを
何度かに分ける
→ドルコスト平均法

リスク対策3 : 定期的なメンテナンスを行う

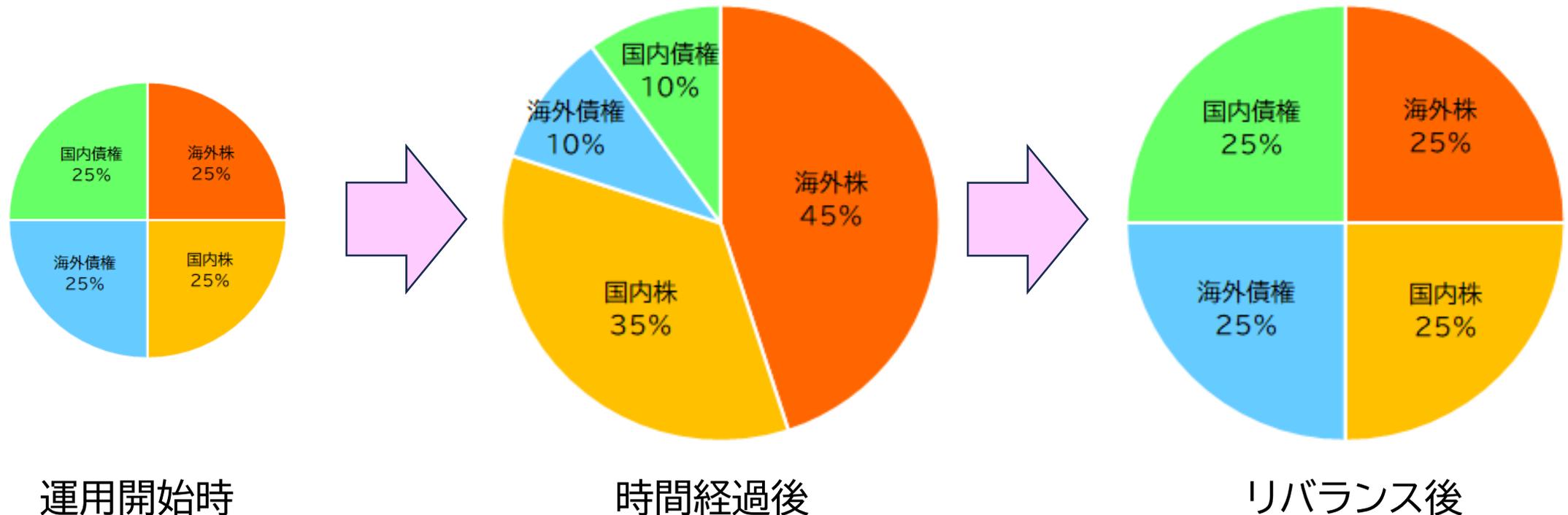
(1)リアロケーション

経済状況やライフスタイルに応じて資産配分の内訳や比率を見直すこと



(2)リバランス

時間が経つと価格変動によって資産配分は変化してゆくの、
最適な資産配分に戻すこと



積立であれば基本は放ったらかし投資でも良いが、時々チェックは必要

1. 投資信託の用語と評価指標
2. 目論見書の見方
3. 株式投資の実際
4. リスクマネジメント
5. 出口戦略
6. まとめ

iDeCoの受け取り方 …… 税金のことを考慮する必要有り

原則60歳になると、年金資産を受け取ることができる。(加入期間が10年以上の場合)

① 一時金として一括で受け取る

75歳になるまでの間に、一括で一時金を受け取る

→ 退職金扱い → 退職所得控除の適用



② 年金として受け取る

5年から20年の間で期間を設定し、年金(定額)として定期的に受け取る

→ 雑所得の扱い → 公的年金等控除の適用

→ 残りの年金資産は運用継続される



③ 年金と一時金を組み合わせて受け取る

① 一時金として一括で受け取る場合の注意事項

退職金扱いとなるため、企業の退職金が多い方は課税される可能性が高い

退職所得

$$= (\text{退職金} - \text{退職所得控除額}^*) \times 1/2$$

勤続年数	退職所得控除額
20年以下	勤続年数 × 40万円
20年超	800万円 + (勤続年数 - 20年) × 70万円

モデルケース

60歳(勤続35年)の方が会社から退職金**1,500万円**とiDeCo**1,500万円**を受け取った場合

$$\text{退職所得控除額} = 800\text{万円} + (35\text{年} - 20\text{年}) \times 70\text{万円} = \mathbf{1,850\text{万円}}$$

$$\text{退職所得} = (3,000\text{万円} - 1,850\text{万円}) \times 1/2 = \mathbf{575\text{万円}}$$

$$\text{所得税額} = 575\text{万円} \times 20\% \times 102.1\% = \mathbf{117.4\text{万円}} \quad \leftarrow \text{速算表より}$$

$$\text{住民税額} = 575\text{万円} \times 10\% = \mathbf{57.5\text{万円}} \quad \leftarrow \text{一律}$$



② 年金として受け取る場合の注意事項

公的年金扱いとなるため、年金額が多い方は大幅な課税がされる可能性が高い

65歳以上、年金以外の所得が1,000万円以下の場合

雑所得

$$= \text{年金額} - \text{公的年金控除額} \text{ etc}$$

受け取る年金額(A)	公的年金控除額
330万円以下	110万円
330万円超 410万円以下	$(A) \times 25\% + 27.5\text{万円}$
410万円超 770万円以下	$(A) \times 15\% + 68.5\text{万円}$
770万円超 1000万円以下	$(A) \times 5\% + 145.5\text{万円}$
1,000万円超	195.5万円

モデルケース

65歳の方が厚生年金**240万円**とiDeCo**150万円**(年額)を受け取った場合の比較



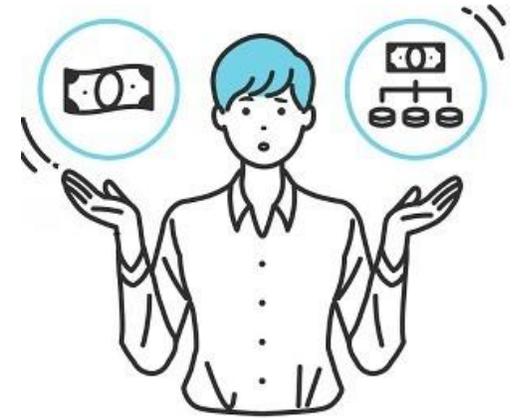
テキストドキュメント

年金額	所得税	住民税	合計税額
240万円	約3.2万円	約7.2万円	約10.4万円
390万円	約10.2万円	約20.7万円	約30.9万円



さらに現役並み所得者として医療費負担が3割になるデメリットも...

NISAの現金化の方法 …… 税金のことを考慮する必要無し



① 一括取り崩し

全て一括で解約(現金化)する方法

② 分割取り崩し(定額法)

定期的に残高から必要額のみ解約(現金化)、残りは運用を継続する方法

③ 分割取り崩し(定率法)

定期的に残高の一定比率を解約(現金化)、残りは運用を継続する方法

④ 分割取り崩し(随時)

必要な時に残高から必要額のみを解約(現金化)、残りは運用を継続する方法

① 一括取り崩し

全て一括で解約(現金化)する方法

- 金額が確定し、将来の資金計画が立てやすい
- 現金化するタイミングが難しい = 株価の影響が大きい

毎月1万円(計10万円)を積立投資した場合



14.6万円



8.8万円

②分割取り崩し(定額法)

定期的に残高から必要額のみ解約(現金化)、残りは運用を継続する方法

→ 現金化するタイミングを考える必要はない

③分割取り崩し(定率法)

定期的に残高の一定比率を解約(現金化)、残りは運用を継続する方法

→ 現金化するタイミングを考える必要はない

→ 運用成績次第で、時間とともに取り崩す額が変動してしまう

→ 運用成績が良い場合は多く受けとれる

→ 運用成績が悪い場合は少なくなる

モデルケース



Aさん 40歳

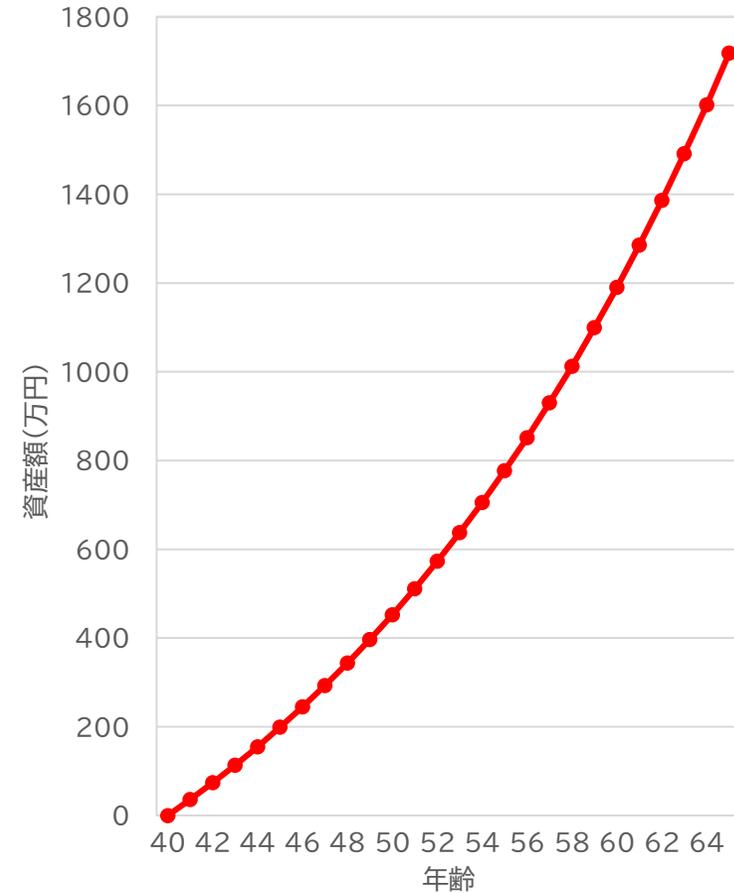
65歳まで(25年間)積み立て投資を行う

毎月の積立額：3万円
運用利回り：5%

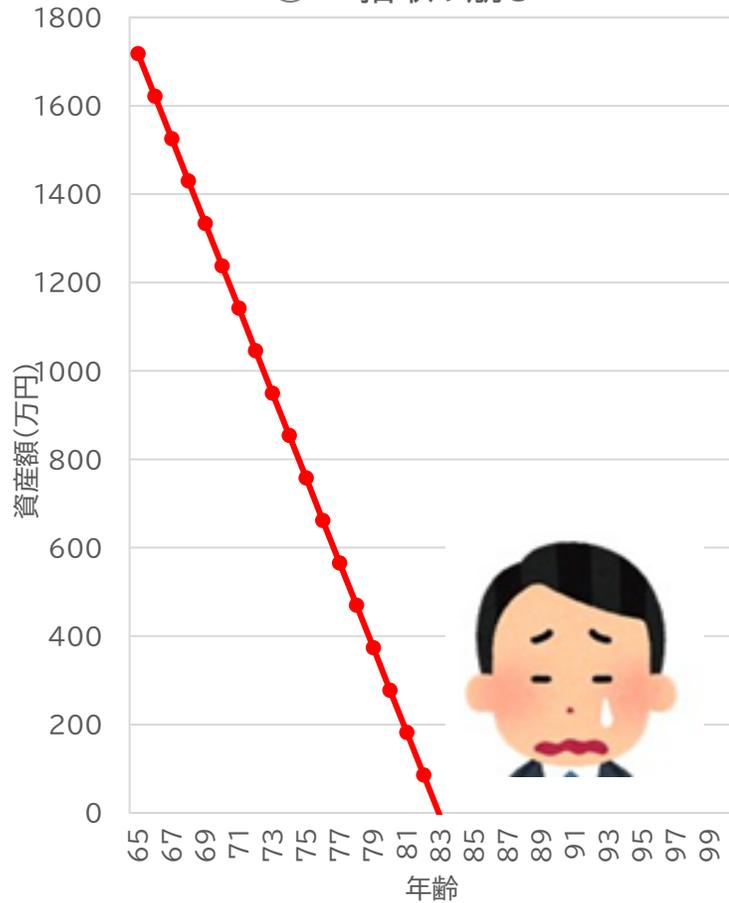
65歳以降は解約(現金化)して

毎月8万円(0.47%)ずつ生活費として使う予定

→ 25年後には1,718万円になる見込み

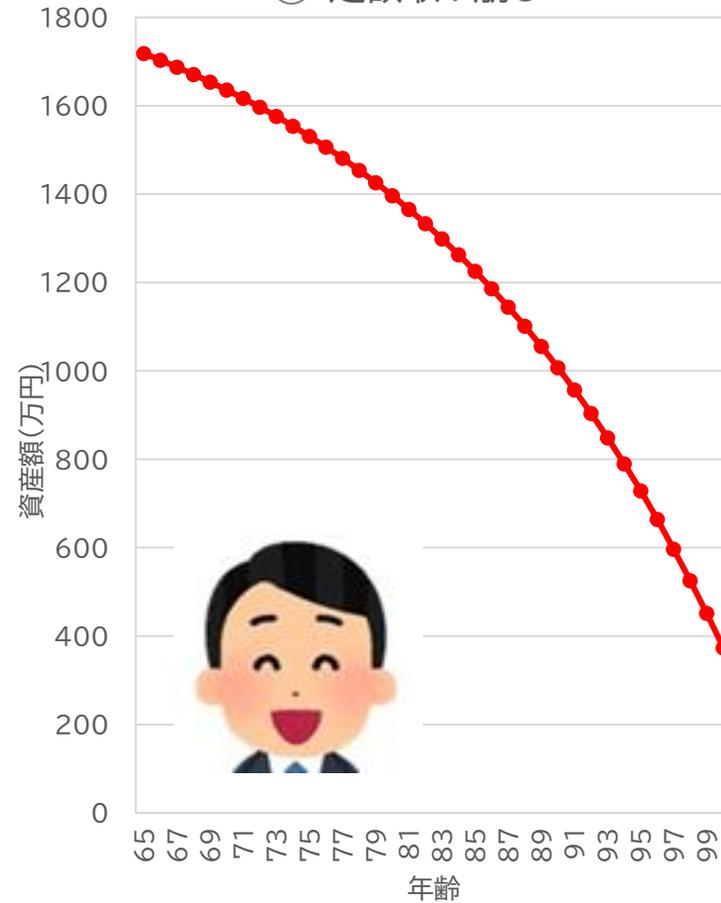


① 一括取り崩し



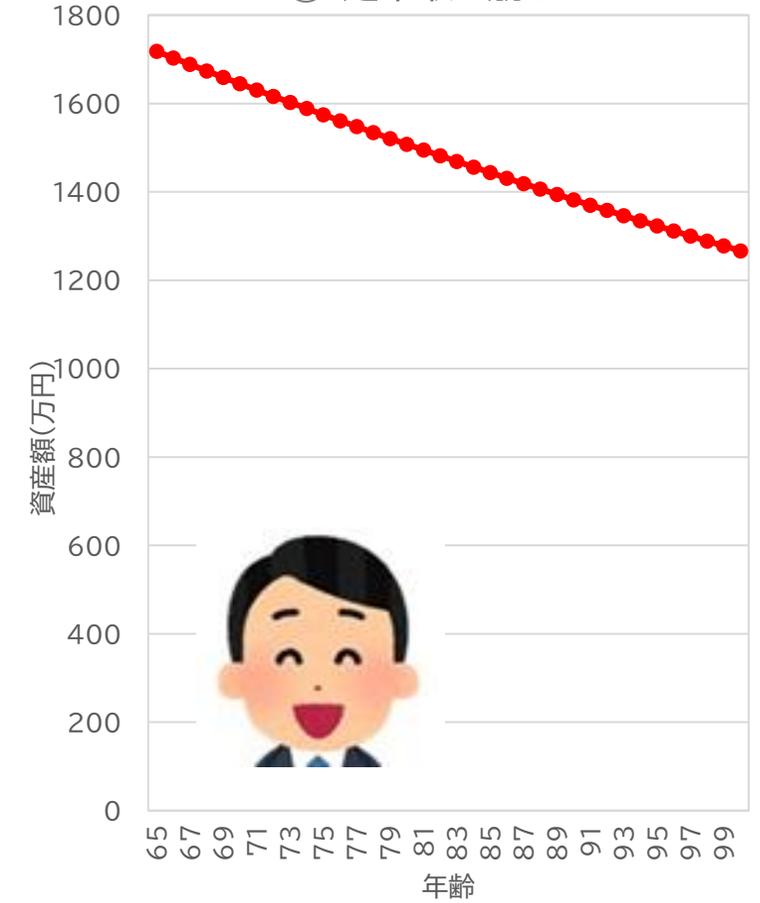
早期に資産が枯渇

② 定額取り崩し



100歳でも大丈夫

③ 定率取り崩し



定期的に残高から必要額のみ解約(現金化)し、残りは運用を継続する方法がお勧め

1. 投資信託の用語と評価指標
2. 目論見書の見方
3. 株式投資の実際
4. リスクマネジメント
5. 出口戦略
6. まとめ

本日のまとめ

- 投資信託の購入は**標準偏差(リスク)**に注意しよう
- 投資信託を購入する際は**目論見書**を必ず確認しよう
- 現物株取引は多額の資金が必要なので慎重に考えよう
- 企業業績や社会情勢変化に注意しよう
- 購入株式の選定は**投資指標**も参考にしよう
- 資産運用の基本は「**長期・積立・分散投資**」
- 定期的に**メンテナンス**も必要
- 現金化は慎重に、取り崩しも時間の分散と**継続運用**が効果的



最後に

- ・アンケートにご協力下さい。
- ・電子ファイルの他者への転送はご遠慮下さい。
- ・セミナー写真(後ろ姿のみ)をブログ等に掲載する場合があります。
- ・**ライフプラン作成、各種相談承ります。詳細は下記までご連絡下さい。**

エニーライフラボ (Any Life Labo)

URL <https://daredemo-fp.com>

Mail daredemo-fp@wonder.ocn.ne.jp

ご清聴
ありがとうございました



資料・帳票のダウンロードURL

<https://daredemo-fp.com/text-dl/>

